

## 「介護セミナー」〈報告〉

### ～認知症をサポートする～

「介護セミナー」オンライン講演（ZOOM同時配信）

日時：令和3年2月17日（水）13：00～14：30

講師：高松市地域包括支援センター 山崎 憲明 氏  
ファーマーシ薬局たかまつ 岡村 リナ 氏

参加人数：176名（学生148名・教職員28名）

2月17日（水）「介護セミナー」をオンライン講演（ZOOM同時配信）で開催しました。

本セミナーは、徳島大学を代表機関とする2020年度科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（牽引型）」において、ワーク・ライフ・バランス実現に資する情報提供のため開催したものです。

高松市より、地域包括支援センター地域支援係 山崎憲明 氏、ファーマーシ薬局たかまつ 岡村リナ 氏をお招きし、ご講演をいただきました。

まず始めに、DVDを用いて認知症の方への望ましい対応・悪い対応について、認知症の主な症状・それに至るまでの予防策、高松市の取り組み、受信・相談窓口などをお話しいただきました。次のDVDでスーパーマーケットでの認知症の人への対応の事例を視聴し、参加者に対応の悪いところを考えてもらい、学生が発表したり、チャットでそれぞれの考えを発表してもらうなど、オンラインならではのセミナーとなりました。最後に認知症予防について、認知症の人と接するときの心がまえ、若年性認知症に関すること、認知症の人と家族への支援などをお話いただきました。

アンケートでは、「非常に参考になった」68%、「参考になった」32%という結果でした。

「具体的な家族や地域の方の対応については非常に参考になりました。」「認知症の症状も多様で、落ち着いて接することが必要だとよくわかりました。」など、事例のDVDを見ることにより、実際にどう対応すべきかがわかったといった声が多く寄せられ、大変有意義なセミナーとなりました。

「認知症の人への対応の心得」“3つの「ない」”、急がせない、驚かせない、自尊心を傷つけないを基本姿勢として意識し、「さりげなく自然に」サポートすることが一番の支援であることを学びました。現在すでに認知症の方が身近にいる人も、まだ一度も関わったことがない人も、今回のセミナーで得た知識を、将来の自分、また近所や知り合いの人、何より家族のために生かしていきたいと思わせてくれるセミナーとなりました。

#### 以下、セミナーについての参加者からの感想（一部抜粋）

- 若い世代にも知識を広げていくことが大切な課題であると改めて認識しました。
- 良い例悪い例の映像などわかりやすく、参加者からのチャットもいろいろな視点に気づくことが出来た。
- たいへんわかりやすい内容でした。疾患の性質だけでなく対応が中心であった点が良かったと思います。
- 子供たちを含めて地域全体の意識改革が必要だと感じました。
- 1人の独立した人間として受け入れること、認知症になった人もなりたくてなったのではないため、補えるところは周りの人が補うこと、相手の視点に立って考えること、そして知ろうとすることがとても大切であると実感しました。



▲セミナー時（ZOOM配信の様子）

